JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部：	首都圏－1	(2)記載者氏名：	植木　信久	会員番号：	12894	事務局整理記入欄		山遊会－03
分水嶺区分	山王峠分岐～E336男鹿岳			(3)山行日：	2006年	4月	17～18日	(4)天候：晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

柴山　武	12097						
植木信久	12894						
		計	2名			計	名

サポート要員氏名および会員番号

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略：	横川放牧場～男鹿岳												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ：													
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	横川ゲート	日留賀岳	139	45	20	37	3	33	815		10:50		
分水嶺到達点	山王峠分岐	日留賀岳	139	48	2	37	5	11	1,205	14:45	14:50	B-3	
		日留賀岳	139	48	27	37	5	7	1,265	15:50	5:30	B-3	幕営地
E336	男鹿岳	日留賀岳	139	49	19	37	5	6	1,777	7:20	7:50	B-3	
	（来た道を引き返す）												
分水嶺離別点	山王峠分岐	日留賀岳	139	48	2	37	5	11	1,205	10:50	11:00	B-3	
歩行終了点	横川ゲート	日留賀岳	139	45	20	37	3	33	815	14:30			
										総歩行時間（休憩時間を除く）：			11時間00分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
E336	男鹿岳	3			雪に埋まって三角点見当たらず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

男鹿岳山頂に最近コメツガの大木に縦20cm、横25cmの右記の標識板設置されている。「男鹿岳標高1777.1m、栃木の山紀行」
尾根の派生が多く、ルート探しに地図と磁石の睨めっこ山行の連続だった。

(9) 水および植生に関連した特記事項

南面四ッの沢から男鹿川に注がれている、また、北面は水無川が栗生沢経由須賀川に合流。
山頂直下にはブナ、ダテカンバ、コメツガ、オオシラビソの植生が多い、また原生林に囲まれている。
冬眠から醒めた熊の足跡散見する。また、鹿、野うさぎ、猿を見る。
蜜薮にかこまれた山域、残雪期だけ通れる山である。

(10) その他の特記事項

8回目（山行報告書 山遊会－02）の踏査は降雪により断念、お陰さまで今回9回目の踏査で分水嶺完遂。

山遊会中央分水嶺踏査一覧表添付　大勢の参加者のもとお蔭様で繋げることができました。

(11) 写真の添付：（ 有りの場合には、写真説明を記入してください）

写真説明：
雪の男鹿岳山頂にて記念撮影

山行報告書（続き）
表面（1ページ目）に書ききれなかった事項を記入してください。

雪の男鹿岳山頂にて記念撮影